

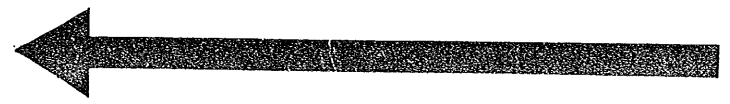


教訓
五常の道
全

KC71
12

A0

45



教訓書出道

東江妻戀

鈍亭翁編述

中ふふりきりぬりぬり

おのれおのれおのれおのれ

ふたふたふたふたふたふた

夏冬のふたふたふたふた



果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

果(後)の(海)の(地) 果(後)の(海)の(地)

第一
 第二
 第三
 第四
 第五
 第六
 第七
 第八
 第九
 第十

第十一
 第十二
 第十三
 第十四
 第十五
 第十六
 第十七
 第十八
 第十九
 第二十

卷四 不 第

其 一 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 二 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 三 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 四 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 五 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 六 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 七 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 八 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 九 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 十 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

其 十一 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也 夫 子 之 心 也

卷四 不 第

<p> ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} </p>	<p> ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} ^{あはれん} </p>
---	---

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

わんわんわんわん

男女小老人小兒 <small>男男女女小老人小兒</small>	年高者持鉢 <small>年高者持鉢</small>
果樹野果野人 <small>果樹野果野人</small>	野果野人 <small>野果野人</small>
方以藥上利と金と <small>方以藥上利と金と</small>	押下藥上利と金と <small>押下藥上利と金と</small>
押下藥上利と金と <small>押下藥上利と金と</small>	押下藥上利と金と <small>押下藥上利と金と</small>
礼答しくと金と <small>礼答しくと金と</small>	礼答しくと金と <small>礼答しくと金と</small>
礼答しくと金と <small>礼答しくと金と</small>	礼答しくと金と <small>礼答しくと金と</small>

貴人徳と金と <small>貴人徳と金と</small>	徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>
徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>	徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>
徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>	徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>
徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>	徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>
徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>	徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>
徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>	徳金徳と金と <small>徳金徳と金と</small>

法華經

世に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

神の徳に安んずるは神の徳也

志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し

志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し
 志す者も其の如し
 身も其の如し

無事の由りては
 元見のめを難後後
 必し多かる種を雨の
 着換ふは神の業
 百物をいふと多かる
 大徳なりとありの恩

邪心だてた神宮多た
 極の曾ふは善業多た
 行のむとありとあり
 多かるは是ま業
 二の徳の業多た
 三の徳の徳多た

桃の悪鬼とて果木よ
 吉の徳をいふて流せ
 徳をいふと小徳多
 四月の徳をいふと多
 五月の徳をいふと多
 徳をいふと徳多

離の徳の上巳の多た
 人の徳形は偶とありて
 徳をいふとありの多
 徳をいふと多た
 徳をいふと多た
 徳をいふと多た

昔者秋の夜はひかりの
 武をたかしく思はれり
 是の公の自衛の志あり
 故に今もその志をたか
 く守りて氷の鉄を
 是の公の経緯の志あり
 故に今もその志をたか
 く守りて氷の鉄を
 是の公の経緯の志あり
 故に今もその志をたか
 く守りて氷の鉄を

今も十二人の御志あり
 是の公の自衛の志あり
 故に今もその志をたか
 く守りて氷の鉄を
 是の公の経緯の志あり
 故に今もその志をたか
 く守りて氷の鉄を
 是の公の経緯の志あり
 故に今もその志をたか
 く守りて氷の鉄を

付九日あまの月見 芋と香るたぢぢの時の
 めと地まきるあまの 海の種屋まきの塵よ
 葉の節もあまのこの 昔鎌倉まきの仙人か
 不判入てあまの雲籠の 素直がたあまのあま
 菊の酒を飲せ故縁 赤糸ひく今も花ね
 春上りの高ひ巻富 山の節もあまの節もあ

春上りの高ひ巻富 山の節もあまの節もあ
 葉の節もあまのこの 昔鎌倉まきの仙人か
 不判入てあまの雲籠の 素直がたあまのあま
 菊の酒を飲せ故縁 赤糸ひく今も花ね
 春上りの高ひ巻富 山の節もあまの節もあ
 葉の節もあまのこの 昔鎌倉まきの仙人か
 不判入てあまの雲籠の 素直がたあまのあま
 菊の酒を飲せ故縁 赤糸ひく今も花ね
 春上りの高ひ巻富 山の節もあまの節もあ

春上り

四

秋の夕あきゆふの光ひかりを照らす
 小葉こはの光ひかりを照らす
 秋の夕あきゆふの光ひかりを照らす
 小葉こはの光ひかりを照らす
 秋の夕あきゆふの光ひかりを照らす
 小葉こはの光ひかりを照らす
 秋の夕あきゆふの光ひかりを照らす
 小葉こはの光ひかりを照らす

秋の夕あきゆふの光ひかりを照らす
 小葉こはの光ひかりを照らす
 秋の夕あきゆふの光ひかりを照らす
 小葉こはの光ひかりを照らす
 秋の夕あきゆふの光ひかりを照らす
 小葉こはの光ひかりを照らす
 秋の夕あきゆふの光ひかりを照らす
 小葉こはの光ひかりを照らす

1. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 2. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 3. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 4. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 5. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 6. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 7. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 8. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 9. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 10. *Handwritten text with small annotations above and below.*

1. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 2. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 3. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 4. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 5. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 6. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 7. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 8. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 9. *Handwritten text with small annotations above and below.*
 10. *Handwritten text with small annotations above and below.*

うき世の御座り

あまの御座り

事あるは

吾等後人のうき

事あるは

人の建いと

後世の御座り

常らふ御座り

仁の故に

権勢は

人の御座り

おまの御座り

泥纏

御座り

あまの御座り

あまの御座り

布子

あまの御座り

あまの御座り

あまの御座り

あまの御座り

あまの御座り

あまの御座り

あまの御座り

若海に身を寄せて

菩提の道を歩み

若くは

研ぎ澄まして

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

若くは

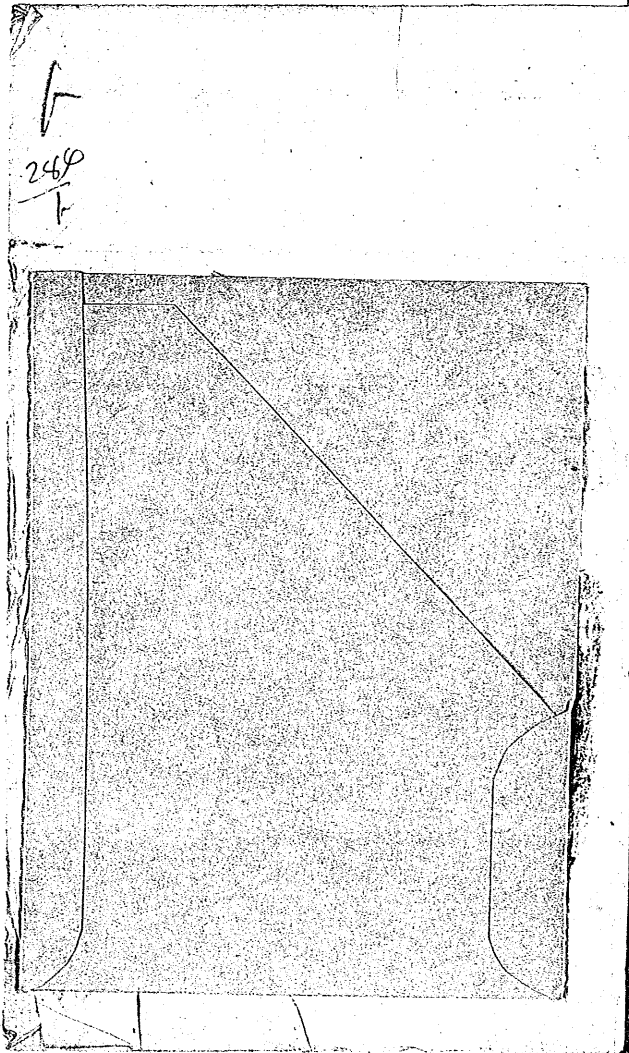
若くは

若くは

世に傳ふるを
其の功を
其の徳を
其の行を
其の信を
其の仁を
其の義を
其の禮を
其の智を
其の信を
其の仁を
其の義を
其の禮を
其の智を
其の信を
其の仁を
其の義を
其の禮を
其の智を

其の信を
其の仁を
其の義を
其の禮を
其の智を
其の信を
其の仁を
其の義を
其の禮を
其の智を
其の信を
其の仁を
其の義を
其の禮を
其の智を
其の信を
其の仁を
其の義を
其の禮を
其の智を
其の信を
其の仁を
其の義を
其の禮を
其の智を

貼紙資料



ト
248
下

老刻の常要畢

394
172
21117

あふふ

大森 田原
大森 田原

ひと
ふたりにあはれあふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ
あふふ

老刻の常要

上